



市が2社と命名権を締結

ヨークいわきスタジアム ハワイアンズスタジアムいわき

市は九月四日、市役所で、21世紀の森公園内にある、「いわきグリーンスタジアム」「いわきグリーンフィールド」と多目的

広場」のネーミングライツ（命名権）パートナー契約締結式を開いた。

ネーミングライツとは、市との契約により、施設の名称に企業名や商品名などを冠する愛称の命名権。対価として得た使用料は、対象施設の維持管理や運営に充てる。

今回、契約を締結したのは、同スタジアムがヨークベニマル、同フィールドと多目的広場が常磐興産。



常磐興産が命名権を取得したいいわきグリーンフィールド

今後は、「ヨークいわきスタジアム」「ハワイアンズスタジアムいわき」「アロハフィールド」の愛称が、市広報媒体、ホームページなどに掲載。野球大会、J2いわきFCのホームゲームのニュースなどでも使用される。

契約期間は令和五年十月一日から五年間。使用料は、「ヨークいわきスタジアム」が年間五百十万円、「ハワイアンズスタジアムいわき、アロハフィールド」が年間五百万円。

市は、四月にも「市芸術文化交流館アリオス」で、同パートナー契約を締結しており、「アルパイン大ホール」は、アルプスアルパイン、「いわしん音楽小ホール」は、いわき信用組合が命名権を取得、愛称が使用されている。

今秋、創業百周年を迎えるひまわり信用金庫（台正昭理事長 Ⅱ本部・平）は、十月二十九日午後、平のいわき芸術文化交流館（通称・アリオス）で、記念

10月にアリオスで記念行事

ひまわり信金100周年

行事を開く。

同信金は一九二三年（大正十二年）十月、小名浜で「有限责任小名浜町信用組合」として設立。その後、合併を経て、現在は、街の応援団・町のパート

新しいことに チャレンジを

悠々の里で書道教室

常磐上矢田町、軽費老人ホーム「悠々の里」（岡田健一理事長）は、毎月第一、三、四金曜日に外部講師、笠野栖空（せいく



講師の笠野さんから手ほどきを受ける入所者

う）さんを招き、同施設で書道教室を開いている。

教室は、開設当初から「篁林（こうりん）書道会」悠々支部として、利用者や地域住民を対象に行ってきた。同職員の根本溪岑（けいしん）さんも教範として指導。現在は、十一人が所属、心待ちにしている受講生らも多く、手ほどきを受けながら楽しく腕を磨いている。

二年前から始めた、同施設利用者で九十二歳の川瀬恒子さんは、「何歳になっても新しいことにチャレンジするのは、自分にとって大きな力になります。書いてみると、やめられないんです」と、にこやかに話していた。

現在、地域住民の参加を随時募集。問い合わせは同施設（電話二九一七七一一）まで。

今秋、創業百年を迎える
同信金Ⅱ部の本部



詳しくは、同金庫総務部（電話二二一八五〇〇）まで。